

学びふれあい 心豊かに

生涯学習

生涯学習課 ☎43-3383
田沢湖公民館 ☎43-1061
角館公民館 ☎54-1110
西木公民館 ☎47-3100

お知らせ

仙北市民大学陶芸学科 第11回「学生陶芸展」

仙北市民大学陶芸学科による学生陶芸展を開催します。

今年「花」をテーマに、新しい令和の時代にふさわしい素敵な作品ができました。ぜひこの機会に、皆様のご来場をお待ちしています。

- 日時／8月3日(土)～5日(月) 9時～16時
- 場所／角館榊細工伝承館 第1研修室
- 入場料／無料
- 問合せ／角館公民館



公民館講座受講者募集

仙北市民を対象とした次の公民館講座の受講者を募集します。受講を希望される方は各講座の申込期間の平日9時から17時まで各公民館の窓口か電話でお申し込みください。

写真撮影会

レンズの向こうは

毎年恒例の写真撮影会を開催します。撮影場所は、自然豊かな玉川ブナ原生林や八幡平などを予定しています。初心者の方でもお気軽にご参加ください。

- 日時／7月23日(火) 9時～14時
- ※午前は撮影会、午後は西木公民館や写真クラブの皆さんと講師や写真技術について学びます。
- 集合場所／西木公民館
- 講師／高橋寛氏(あおば写真)
- 持ち物／カメラ、昼食
- 受講料／400円(保険料)
- 定員／10人(定員になり次第締切)
- 申込期間／7月16日(火)～19日(金)
- 問合せ／西木公民館

生保内節を唄ってみよう

民謡教室 (生保内節元唄教室)

田沢湖公民館で5月から開催している生保内節元唄教室では、小学生から一般の方まで幅広い世代の方が参加し毎回楽しく練習しています。9月まで民謡教室が続きますので興味のある方は、お気軽にお申し込みください。

- 日時／7月23日(火)、8月6日(火)、22日(木)、9月3日(火)、17日(火) 19時～20時30分
- 場所／田沢湖総合開発センター
- 講師／加藤喜美雄氏(第1回生保内節全国大会優勝者)、石橋政文氏(日本民謡協会田沢湖会会長)
- 受講料／無料
- 問合せ／田沢湖公民館



生演奏で唄っています。

【訂正とお詫び】

広報6月16日号18ページに掲載の文化サークル「角館茶道連盟」で誤りがありました。訂正してお詫びいたします。

	団体名	内容	活動日	時間	場所
誤	角館茶道連盟	茶道の礼儀作法や薄茶の点前を学ぶ。	第1・3木曜日	13:30～15:00	旧石黒(恵)家
正	角館町茶道連盟 (戸納瀬社中)	おいしい煎茶の入れ方や作法に興味のある方、大歓迎。	第2・4土曜日	10:00～12:00	旧石黒(恵)家



心豊かな教育文化のまち

《仙北市民教育委員会だより》

神代中学校 生徒会の活躍No.4 おらほの自慢「生徒も先生もみんな仲がよいこと！」

今年度の生徒会のリーダーは、生徒会長・津嶋杏輔さん(3年)、副会長・清水優真さん(3年)、副会長・佐藤心響さん(3年)の3人を中心に副会長(2年)と書記3人(2年・3年)、計7人体制で活動しています。「絆」を広げよう、笑顔の輪を生徒会テーマに掲げ、みんなが仲がよくなる、仲のよい学校にしよう、と様々な活動を繰り広げています。小学校の時とほぼ同じメンバーではありますが、中学生として先輩後輩の礼儀を保ちつつ、お互いに親しく話ができる仲間です。休み時間はにぎやかで、ハイテンションな神代が神中の勢いにつながっていると話してくれました。

会長の津嶋さんに抱負を聞くと、「一番に思うことは『あいさつ』。一人ひとりが自分から積極的に明るく声をかけていくということをしつかりと広めていきたい」と話してくれました。また、3人は今年度の「神中祭」を、どの年よりも楽しいものにしたいし、地域の方々に喜んでもらえるものになりたいと意気込んでいました。特に恒例となっている「ダンス甲子園」は、体育の授業の成果を発揮する場となります。選ばれた数チームは神中祭で発表できるとあって生徒たちの熱の入れようがうかがえます。3年男子には主役をはれる見応えのある役者もいると聞きました。「吹奏楽演奏もぜひ聴きに来てほしい」と吹奏楽部部長でもある心響さんが笑顔で話してくれました。



令和元年度、神中の「顔」生徒会リーダーの3人。10月13日の神中祭が楽しみです。

桧木内小学校 農学博士を迎えて～特別授業～

6月10日、5・6年生は農学博士を迎えて特別授業を行いました。お迎えした先生は、大曲農業高校の大沼克彦先生です。先生は「田沢湖の中性化について」研究していて、生物工学部の2人の生徒とともに桧木内に来てく

だきました。5年生のメダカについての授業を紹介します。まずはミッシェンから。①メダカのヒレの名前はそれぞれ何という? ②オスとメスの違いはどこでわかる? 水槽をのぞいてオス・メスがそれぞれ何匹いるか確認してみました。動き回るメダカにやや苦戦。メダカの水槽には中和した田

沢湖の水が入れられています。大沼先生は「このメダカを飼育しながら、3つのことを観察してほしい」と話し、「メダカの親の数、ちゃんと卵を産むか、卵からかえった赤ちゃんメダカが成長するか、の3つです。メダカを大事に育ててくださいね」と呼びかけました。5年生は元気よく「はい」と答えました。魚にとって安全な水は、そこに住むだけでなく子孫を残していくことだと日々研究が続けられています。



背びれの切れ目は見えるかな?

中川小学校 地域学校協働本部の活動から

6月25日、4・6年生19人が地域のボランティアの5人の先生を迎えて地元の民謡と手踊りを教わりました。学習発表会の三省祭で披露するために練習を重ね、4回目になります。曲は「おやま(こさん)り」「組音頭」「どはん節」の3曲です。

手踊りチームも汗を流して頑張りました。先生のお手本を見ているときも、自然と手が動き出します。民謡チームの戸澤清志郎さん(6年)は「歌詞も覚えてきた。練習する機会がこれから少なくなるので、しっかり覚えたい。3曲の中では組音頭が気に入っている。音程やリズムが唄いやすい」と話してくれました。

もうほとんど見ないで唄えます。「次は手拍子を入れて唄いましょう」。唄うほど子どもたちの声も大きくなり、合の手も大きな声で入れられます。先生に質問! 「どはん節で『あやめ花』とあるけど、はな? ばな?」唄い込んできたから出る質問です。また方言部分の歌詞について「笑ってくれるな、おら言葉、おらが秋田の国なまり」おらって何? と現代っ子的質問がありました。先生からいろいろな話を聞いて「ふうん」と。

ボランティアの先生方は子どもたちの上達ぶりを喜んでいて、「ステージに上がると子どもたちの姿が映える。今年も見るのが楽しみ」と話してくれました。9月22日の三省祭が待ち遠しいですね。



手拍子にあわせて、調子を整えて唄おう。